

Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2022/03/22

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.55	0.22
JPY/THB	0.2807	0.0010
USD/JPY	119.47	0.30
EUR/THB	36.96	0.13
EUR/USD	1.1016	-0.0035
USD/CNH	6.371	0.004
SGD/THB	24.71	0.11
AUD/THB	24.83	0.12
USD/INR	76.13	0.32
USD Index	98.50	0.27

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.420	0.009
10Y (THB)	2.338	0.027
5Y (USD)	2.321	0.178
10Y (USD)	2.290	0.140

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,929.5	0.2
WTI (Oil)	112.12	7.42
Copper	10,295.0	-36.0

Stock

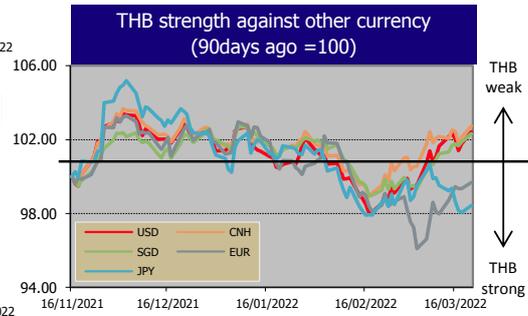
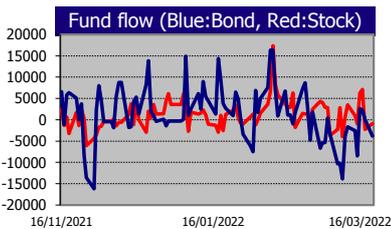
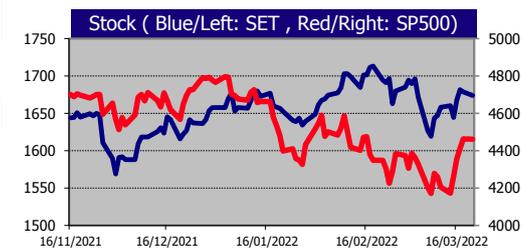
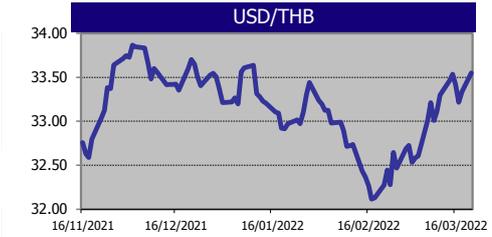
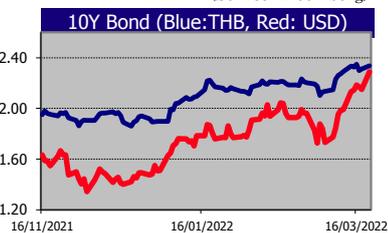
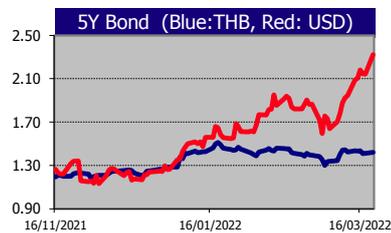
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,673.87	-4.64
NIKKEI (JP)	26,827.43	0.00
DOW (US)	34,552.99	-201.94
S&P500 (US)	4,461.18	-1.94
SHCOMP (CN)	3,253.69	2.61
DAX(GER)	14,326.97	-86.12

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(938)	1297.0
Bond net flow	(3,867)	-3960.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。バンコク時間は33.35近辺でオープン。この日は実質5・10日に当たることから実需のフローが優勢となり、加えて原油価格が再び大きく上昇を示したことからパーツは売り優勢の展開。海外時間にはパウエルFRB議長のタカ派スタンスが確認されたことでドル買いが強まり、ドルパーツは結局33.55近辺まで上昇した。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅上昇。この日は日本が祝日となる中、アジア時間は119.25円近辺でオープン。真新しい材料がない中で横ばい推移が続くが、海外時間に入りパウエルFRB議長から必要であれば5月のFOMCで50bpの利上げもありえるとの発言が見られたことで、FEDの引き締め姿勢が一段と意識され、米短期金利は上昇。原油価格が再び上昇基調を示すも、ドル円はやや反応薄の展開となり、結局119.45円近辺での小幅高でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

昨日はパウエルFRB議長が5月のFOMCにおいて50bpの利上げの可能性を示唆したことで、マーケットはFRBのタカ派スタンスを一段と意識する展開となりました。原油価格が再び上昇基調に転じたことで、スタグフレーション懸念も意識されるなか、祝日明けの本日東京市場では実需のドル買いフローが優勢となり、ドル円はついに120円の大台に乗せる展開となりました。タイにおいても原油価格の上昇はドル買いパーツ安フローをサポートするため、ドルパーツもドル円と同様に上昇基調を示し、本日は直近高値を上げ、33台半ばまで上昇してきております。ウクライナ情勢は早期解決の目処が立たない状況であるものの、FRBの金融引き締めは一步步進んできており、タイと米国の金融政策スタンスの方向感にも注目が集まります。タイでは来週30日に金融政策委員会 (MPC) を迎えますが、タイ中銀としては2月の5.28%のCPI結果を踏まえても、現行スタンスへの変化は見られなかったことから、今回の会合においても現行通りの金融政策を維持することが予想されます。ドルパーツの水準としては昨年の高値圏も視野に入ってきておりますが、米国の利上げ折込みについてもかなりの部分がマーケットに織り込まれつつあり、一方向的にパーツ安トレンドが進むような展開も考えにくい状況です。目先のドルパーツは34台をトライしにく可能性も考えられますが、上値トライも限定的と考えられ、MPCまでは足元水準での高値推移が継続しそうです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.